



『若頭の偽嫁は今夜も束縛から逃れられない』

編集長 川俣のレビュー

| | |
|--------|-------|
| 面白さ | ★★★★☆ |
| エロさ | ★★★★★ |
| ストーリー性 | ★★★★☆ |
| 何度も | ★★★★★ |

■感想

タイトルの物騒さから想像する展開を、いい意味で裏切ってくれる純愛寄りのラブストーリー。極道の若頭という立場なのに、ヒロインの前では不器用で照れ屋、昔から一途に想い続けている姿がとにかく可愛いです。ヒロインも振り回されつつ、強引さの中にある優しさや距離感に少しずつ心を開いていく流れが自然で、読んでいてほっこり。

和装や和室など“和”の雰囲気も作品に合っていて、世界観にずっと入り込めました。激しさよりも気持ちの通い合いを大事にした描写なので、恋愛重視派に特におすすめ。

最後まで読むと若頭の純情さが愛おしくなり、もう一度最初から読み返したくなる一作です。

『若頭の偽嫁は今夜も束縛から逃れられない』
を今すぐ立ち読み